

2011年3月期 第2四半期 決算説明会資料

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2011年3月期 第2四半期実績



全社業績 : Executive Summary

- 全社業績は増収増益
- 国内たばこ事業は増税に伴う定価改定前の駆け込み需要により増収増益
- 海外たばこ事業は総需要減少により総販売数量減となったものの、単価上昇効果および為替のプラス影響により増収増益、引き続きシェアも伸長

全社業績：2011年3月期 第2四半期実績

(単位:億円)	2009 4-9月期	2010 4-9月期	増減
調整後税売上高 ¹⁾	9,867	10,352	+4.9%
EBITDA	2,793	3,064	+9.7%
営業利益	1,637	1,988	+21.5%
経常利益	1,351	1,861	+37.8%
四半期純利益	660	819	+24.0%

<参考:のれん償却前>	2009 4-9月期	2010 4-9月期	増減
営業利益 ²⁾	2,133	2,460	+15.3%
経常利益 ²⁾	1,847	2,333	+26.3%
四半期純利益 ²⁾	1,156	1,291	+11.6%

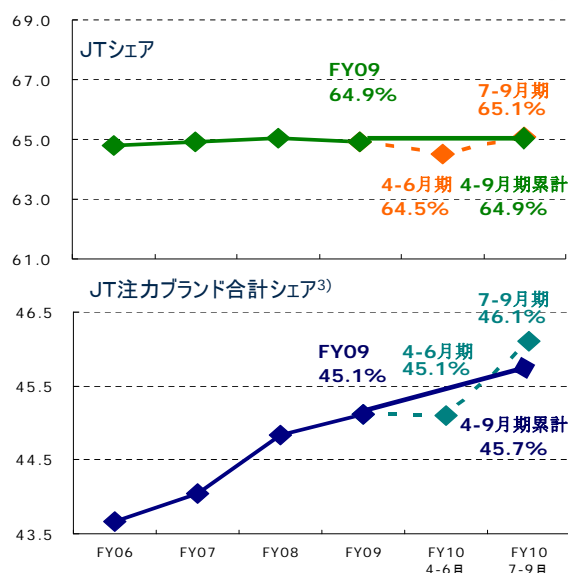
- 国内たばこ事業における増税に伴う定価改定前駆け込み需要による販売数量増および海外たばこ事業における単価上昇効果と為替のプラス影響により、調整後税売上高は4.9%増収、EBITDAは9.7%増益
- 経常利益は営業利益の増益に加え、為替差損の改善や支払利息の減少等により、37.8%増益
- 四半期純利益は、経常利益の増益をカナダ政府への過料支払および固定資産売却益の減少等が一部相殺し24.0%増益

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2)のれん償却影響除き



国内たばこ事業：2011年3月期 第2四半期実績

(単位:億本, 億円)	2009 4-9月期	2010 4-9月期	増減
販売数量	786	865	+10.1%
調整後税売上高 ¹⁾	3,188	3,514	+10.2%
EBITDA ²⁾	1,335	1,501	+12.4%
営業利益	1,064	1,277	+20.0%



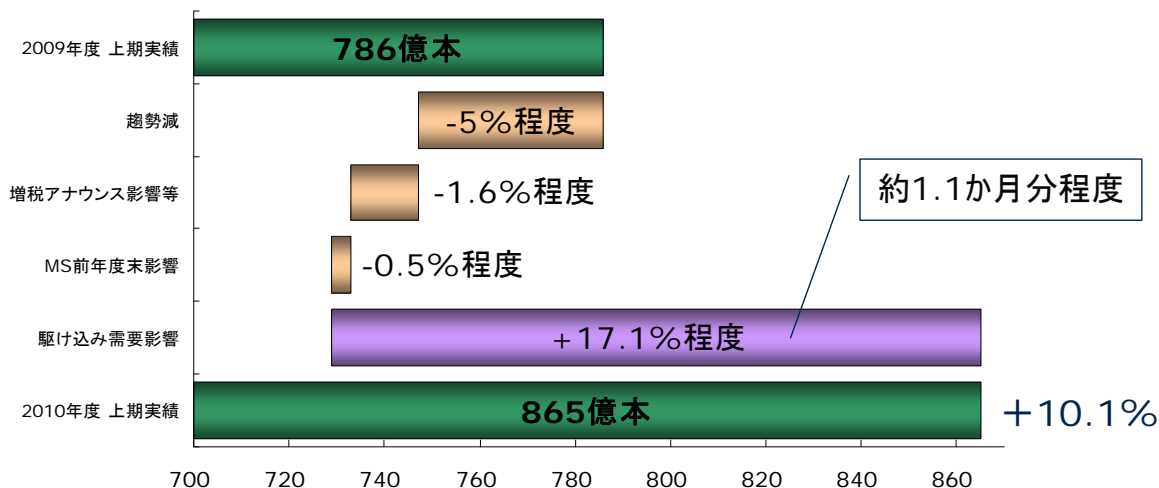
- 10月増税に伴う定価改定前の駆け込み需要による販売数量増により増収増益
- 4-9月期の注カブランドシェアは増税に伴う定価改定前の駆け込み需要影響を受け上昇、JTシエアは前年度と同水準
- 新価格における販売動向を当面注視しつつ、価格にふさわしい製品づくり、販売接点づくり等の施策を着実に実行

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
2)JT1からのロイヤリティー受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後
3)マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモ(10年1月にピアニッシモに統合したアイシーン、ルーシア込みで遡及)



国内たばこ事業：2011年3月期 第2四半期実績

【上期数量増減内訳】



- 10月増税に伴う定価改定前駆け込み需要はほぼ想定どおり発生
- 駆け込み需要に対し、需給に支障をきたすことなく対応

7



海外たばこ事業：2011年3月期 第2四半期実績

(単位: 億本、百万US\$)	2009	2010	増減				
	1-6月期	1-6月期		2009	2010	増減率	
				1-6月期	1-6月期		
				期中平均	期中平均		
総販売数量 ¹⁾	2,161	2,047	-5.2%				
GFB販売数量	1,213	1,183	-2.5%				
調整後税抜売上高 ²⁾	4,552	4,970	+9.2%				
調整後千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	21.3	24.5	+15.3%				
\$ベースEBITDA ⁴⁾	1,505	1,684	+11.9%				
円ベースEBITDA ⁴⁾ (億円)	1,438	1,538	+6.9%	RUB/\$	33.17	30.05	10.4%高
【為替中立ベース】				GBP/\$	0.68	0.64	6.0%高
調整後税抜売上高 ²⁾	4,552	4,727	+3.8%	EUR/\$	0.76	0.73	3.9%高
調整後千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	21.3	23.3	+9.6%	円ドル	95.59	91.36	4.6%高
\$ベースEBITDA ⁴⁾	1,505	1,606	+6.7%				

- 総販売数量は減少したものの、単価上昇効果および為替のプラス影響により増収増益

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Smus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

3) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Smus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

4) JTへのロイヤリティ支払い前

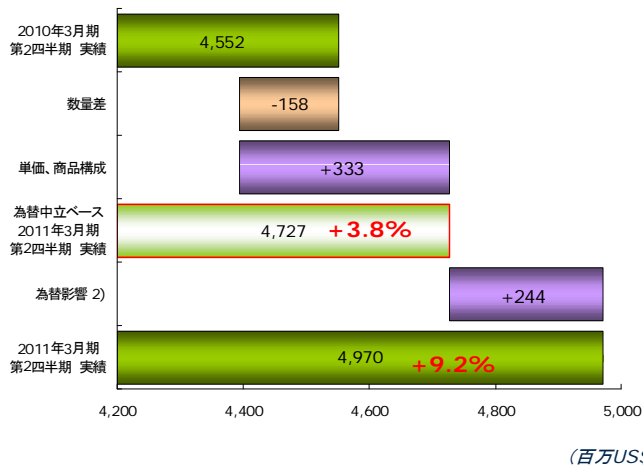
8



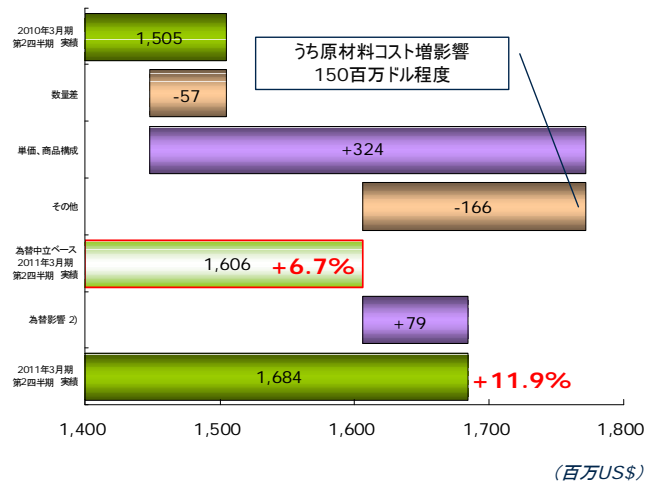
4

海外たばこ事業：2011年3月期 第2四半期実績

【調整後税売上高¹⁾増減】



【EBITDA³⁾増減】



- 調整後税売上高は単価上昇効果および為替のプラス影響により9.2%増収、EBITDAは11.9%増益
- 為替中立ベースの調整後税売上高は3.8%の増収、ドルベースEBITDAは6.7%増益
- 円高影響を受けたものの、円ベースEBITDAも6.9%増益

1) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
 2) USドルと各現地通貨との間の為替影響
 3) JTへのロイヤリティ支払い前



医薬事業：2011年3月期 第2四半期実績

	2009 4-9月期	2010 4-9月期	増減
売上高 (単位:億円)	221	231	+10
EBITDA	△ 49	△ 48	+1
営業利益	△ 68	△ 67	+0

新規臨床入り

臨床開発品目 (2010年10月28日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内:Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase2
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外:Phase1
JTT-751(経口)	高リッ血症	国内:Phase2
JTK-853(経口)	C型肝炎	海外:Phase1
JTT-851(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1

- 鳥居薬品の好調により増収となるも、コスト増影響等によりEBITDAは横ばい
- JTT-851が新規臨床入り



食品事業：2011年3月期 第2四半期実績

(単位:億円)	2009 4-9月期	2010 4-9月期	増減
売上高	2,008	1,968	-39
飲料事業	964	1,007	+43
加工食品事業等	1,043	960	-82
EBITDA	84	96	+12
営業利益	△ 56	△ 33	+23



- 飲料事業は猛暑影響及び「ルーツ」への注力により増収
- 加工食品事業における精白米等の卸売事業の廃止および一部子会社を連結対象外としたことに加え、外食産業向け業務用商品の売上減等により減収
- 加工食品事業における業務用商品が不振であったものの、飲料事業が堅調に推移したことにより増益

2011年3月期 海外たばこ事業 7-9月期速報値

- 7-9月期の総販売数量およびGFB販売数量は対前年プラス成長に転じ、概ね想定どおり推移
- シェアは引き続きほぼ全ての主要市場で増加
- 7-9月期の調整後税抜売上高は、数量プラス成長に加え、単価上昇効果により5.8%増収、為替中立ベースでも8.9%の増収
- 1-9月期の調整後税抜売上高は8.0%の増収、為替中立ベースでも5.6%の増収

海外たばこ事業：2011年3月期 7-9月期

(単位: 億本、百万US\$)	2010 1-3月期	2010 4-6月期	2010 7-9月期	2010 1-9月期
総販売数量 ¹⁾	941 (-6.8%)	1,107 (-3.9%)	1,148 (+4.8%)	3,195 (-1.9%)
GFB販売数量	546 (-4.4%)	637 (-0.9%)	667 (+9.4%)	1,851 (+1.5%)
調整後 税抜売上高 ²⁾	2,372 (+10.4%)	2,598 (+8.1%)	2,621 (+5.8%)	7,591 (+8.0%)
調整後 千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	25.5 (+18.6%)	23.7 (+12.4%)	23.0 (+1.0%)	24.0 (+10.1%)
【為替中立ベース】				
調整後 税抜売上高 ²⁾	2,185 (+1.8%)	2,541 (+5.7%)	2,697 (+8.9%)	7,423 (+5.6%)
調整後 千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	23.5 (+9.2%)	23.2 (+10.0%)	23.7 (+3.9%)	23.4 (+7.6%)

- 7-9月期の総販売数量およびGFB販売数量は対前年プラス成長に転じそれぞれ4.8%、9.4%増加
- 7-9月期の調整後税抜売上高は、数量プラス成長および単価上昇効果により5.8%成長
- 7-9月期の為替中立ベースの調整後税抜売上高は、8.9%成長

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

3) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

海外たばこ事業：地域別販売動向

<速報値 7-9月>

【地域別 総販売数量¹⁾成長率】

	2010 1-3月期	2010 4-6月期	2010 7-9月期	2010 1-9月期
Total	-6.8%	-3.9%	+4.8%	-1.9%
S & W Europe	-9.2%	-3.1%	+2.3%	-3.4%
N & C Europe	+6.9%	+4.1%	-0.5%	+3.3%
CIS+	-9.7%	-7.3%	+0.8%	-5.1%
Rest of the World	-5.9%	-0.6%	+18.6%	+3.2%

【地域別 GFB販売数量成長率】

	2010 1-3月期	2010 4-6月期	2010 7-9月期	2010 1-9月期
Total	-4.4%	-0.9%	+9.4%	+1.5%
S & W Europe	-8.9%	-0.9%	+4.0%	-2.0%
N & C Europe	+16.2%	+11.5%	+4.5%	+10.3%
CIS+	-5.3%	-5.3%	+6.9%	-1.0%
Rest of the World	-4.5%	+3.2%	+21.7%	+5.9%

- S&WE:イタリア(Winston)、フランス(Winston/Camel)における成長モメンタムの継続によりプラス成長
- N&CE:UKにおける6月の仮需反動影響をSterling/Amber Leafの好調および他市場の数量増によりほぼ相殺。GFB販売数量は引き続きプラス成長
- CIS+:ロシアでのGFB、特にWinston/LDの牽引によりシェアが伸長したことに加え、総需要の減少が上期と比較して緩やかになったことにより、販売数量/GFB販売数量がプラス成長に転じる
- ROW:中東、トルコでの成長モメンタムの継続。大幅なプラス成長は、前年同期の中東、トルコ、台湾のパフォーマンスが、出荷タイミングのずれ、または増税仮需反動により低調だったことも要因

1)Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

15



海外たばこ事業：主要市場でのシェアおよび増税・値上

	2009年 9月 ¹⁾	2010年 6月 ¹⁾	2010年 9月 ¹⁾	増税	値上げ
Italy	18.1%	19.0%	19.4%	-	-
France	14.6%	15.5%	15.8%	-	-
Spain	20.5%	20.7%	20.7%	7 ₂₎ 月	1、6月
UK	41.0%	41.0%	40.8%	1 ₃₎ 、3月	1、3月
Russia	36.5%	36.9%	37.0%	1月	1、6、7 ₄₎ 月
Turkey	18.5%	20.6%	21.8%	1月	1月
Taiwan	38.7%	37.1%	37.8%	-	-

1)12ヶ月移動平均

出典:AC Nielsen、Core EPOS及びJTJ内部データ

2)VAT引上げ

3)VAT引上げ

4)サブプレミアムセグメント以下は6月、プレミアムセグメント以上は7月

- シェアは引き続きほぼ全ての主要市場で増加

16

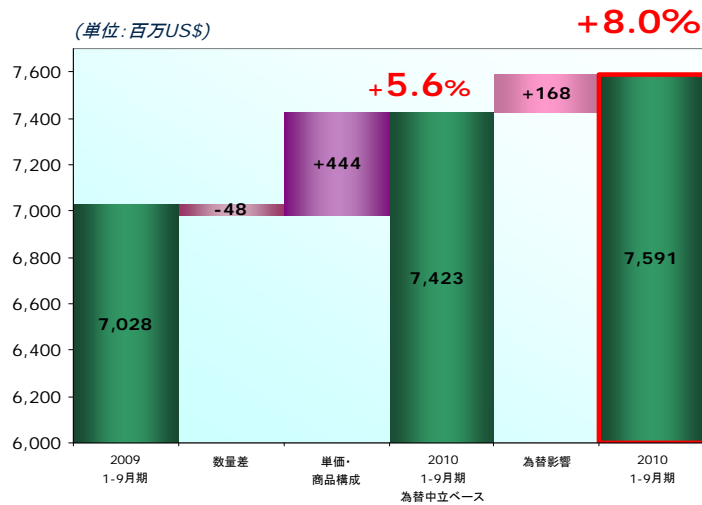


8

海外たばこ事業：2011年3月期 1-9月期

【調整後税抜売上高¹⁾】
09年1-9月期 ⇒ 10年1-9月期】

<速報値 1-9月>



	2009 1-9月期 期中平均	2010 1-9月期 期中平均	増減率
RUB/\$	32.54	30.24	7.6%高
GBP/\$	0.66	0.65	1.4%高
EUR/\$	0.74	0.75	1.2%安

- 1-9月期の調整後税抜売上高は単価上昇効果、為替のプラス影響により、8.0%成長
- 為替中立ベースの調整後税抜売上高は5.6%成長

1) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

2011年3月期 業績予想

業績予想 : Executive Summary

- 海外たばこ事業の為替中立ベースEBITDAは6.2%成長で変更なし
- 国内たばこ事業のEBITDAも当初見込を維持
- 海外たばこ事業における前提為替レートの見直しに伴う為替のマイナス影響、国内たばこ事業における販売数量の下方修正および食品事業における業務用商品の売上不振等により、全社調整後税抜売上高を下方修正
- 主として前提為替レートの見直しに伴う為替のマイナス影響等により全社EBITDAを下方修正

2011年3月期 業績予想

(単位:億円)	2009年度	2010年度		対当初見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c		
調整後税抜売上高 ¹⁾	19,809	19,730	19,050	- 680	-3.8%
EBITDA	5,267	5,130	4,950	- 180	-6.0%
営業利益	2,965	2,950	2,810	- 140	-5.2%
経常利益	2,553	2,760	2,610	- 150	+2.2%
当期純利益	1,384	1,330	1,150	- 180	-16.9%
ROE(%)	8.6	8.0	6.9	-1.1ppt	-1.7ppt
FCF	2,507	1,350	1,250	- 100	-50.1%
【のれん償却影響前】					
当期純利益 ²⁾	2,358	2,260	2,050	- 210	-13.1%
EPS ²⁾	24,621円42銭	23,590円59銭	21,408円96銭	-2,181円63銭	-13.0%
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	5,600	-	-200
配当性向(%) ²⁾	23.6%	23.7%	26.2%	+2.4ppt	+2.6ppt

- 国内たばこ事業および海外たばこ事業の為替中立ベースのEBITDAは当初見込から変更なし
- 主として海外たばこ事業における前提為替レートの見直しに伴う為替のマイナス影響等により全社EBITDAを下方修正
- 公募中の品川シーサイドフォレストは入札を11月下旬に、契約を1月上旬に予定(本業績予想には織り込まず)

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2)のれん償却前

国内たばこ事業：2011年3月期 業績予想

(単位:億本、億円)	2009年度	2010年度		対当初見込	対実績
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c	増減 c-b	増減率 (c-a)/a
販売数量	1,518	1,275	1,255	- 20	-17.3%
調整後税抜売上高 ¹⁾	6,159	5,760	5,680	- 80	-7.8%
EBITDA ²⁾	2,512	2,190	2,190	—	-12.8%
営業利益	1,987	1,720	1,720	—	-13.5%



※ゼロスタイル・ミント
11月より東京都に加え神奈川県でも発売

- 上期の定価改定アナウンス影響を考慮し、販売数量、売上高を下方修正
- EBITDAは変更なし

このスライドは投資家に業績を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

21

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
2) JTIからのロイヤリティ受取前、
会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

ひとの
ときを、
想う。 JT

海外たばこ事業：2011年3月期 業績予想

(単位:億本、億円)	2009年度	2010年度		対当初見込	対実績
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c	増減 c-b	増減率 (c-a)/a
総販売数量 ¹⁾	4,349	4,330	4,285	- 45	-1.5%
GFB販売数量	2,434	2,500	2,500	—	+2.7%
調整後税抜売上高 ²⁾	9,067	9,440	8,910	- 530	-1.7%
EBITDA ³⁾	2,776	3,000	2,840	- 160	+2.3%
(単位:百万US\$)					
調整後税抜売上高 ²⁾	9,682	10,480	10,240	- 240	+5.8%
為替中立ベース調整後税抜売上高 ²⁾	9,682	10,060	10,110	+50	+4.4%
EBITDA ³⁾	2,965	3,330	3,260	- 70	+9.9%
為替中立ベースEBITDA ³⁾	2,965	3,150	3,150	—	+6.2%

- 為替中立ベースEBITDAの見込は6.2%成長で変更なし
- 前提為替レートの見直しによりドルベース調整後税抜売上高、EBITDAは5.8%、9.9%成長の見込
- 総販売数量は対前年△1.5%を想定

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
3) JTIへのロイヤリティ支払い前

海外たばこ事業：前提為替レート

	2010年度 当初通期見込 a	2010年度 修正通期見込 b	対10年度 当初通期見込 増減率 b対a	2010年度 1-9月期 期中平均 c
RUB/USD	29.50	30.10	2.0%安	30.24
GBP/USD	0.65	0.64	1.6%高	0.65
EUR/USD	0.68	0.75	9.3%安	0.75
JPY/USD	90.00	87.00	3.4%高	89.49

- 直近までの為替レートの推移を勘案し為替前提を変更
- ドルベースEBITDAの為替影響は、当初見込の対前年+180百万ドルに対し、+110百万ドルに修正
- 円ベースEBITDAは円高影響により当初見込に対して100億円のマイナス影響を想定

医薬事業：2011年3月期 業績予想

	2009年度 実績 a	2010年度 当初見込 b	2010年度 修正見込 c	対当初見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
(単位:億本、億円)					
売上高	440	445	455	+10	+13
EBITDA	△ 96	△ 145	△ 130	+15	- 32
営業利益	△ 135	△ 185	△ 170	+15	- 34

- 鳥居薬品の好調により売上高を上方修正、加えて販管費の見直しによりEBITDAも上方修正

食品事業：2011年3月期 業績予想

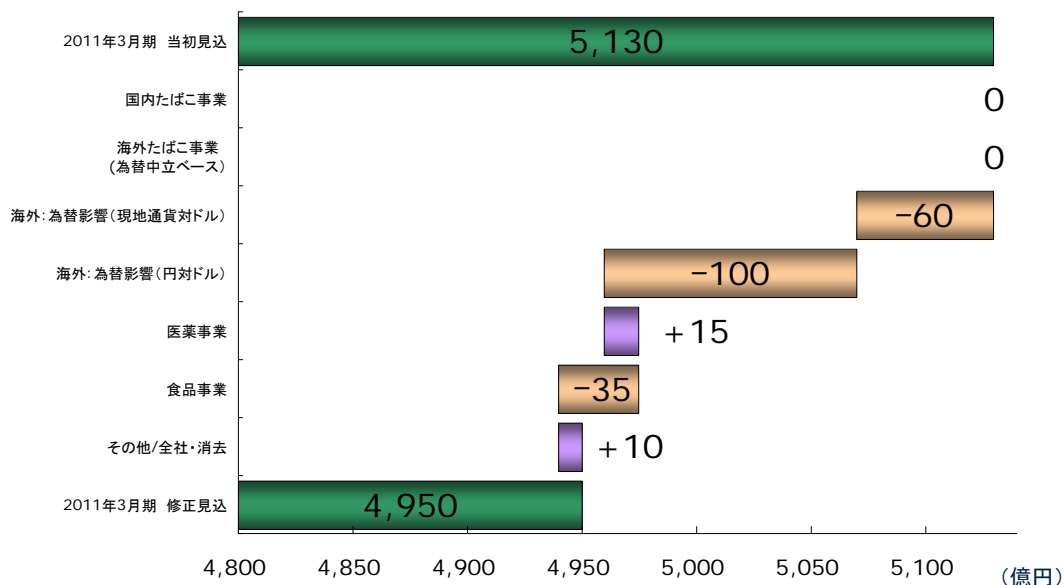
	2009年度	2010年度		対当初見込	対実績
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c	増減 c-b	増減 c-a
(単位:億本、億円)					
売上高	3,946	3,900	3,830	- 70	- 116
EBITDA	144	185	150	- 35	+5
営業利益	△ 136	△ 90	△ 125	- 35	+11



- 飲料事業において猛暑による好影響を受ける一方、加工食品事業等において精白米等の卸売事業を廃止したことに加え業務用を中心とした冷凍食品および水産品の売上不振により売上高を下方修正
- 利益面では加工食品事業等の業務用商品の売上不振および原材料価格高騰影響によりEBITDA、営業利益とも下方修正

2011年3月期 業績予想

【EBITDA見込修正内訳】



- 国内たばこ事業および海外たばこ事業の為替中立ベースのEBITDAは当初見込から変更なし
- 前提為替レートの見直しを主因に全社EBITDAを下方修正

<Back up data>

*All the Detailed figures comes to
<Back up data>*

<Back up data No.1 > 海外たばこ事業 GFB販売数量

(単位:億本)	2010 1-3月期	2010 4-6月期	2010 7-9月期	2010 1-9月期
GFB volume	546 (-4.4%)	637 (-0.9%)	667 (+9.4%)	1,851 (+1.5%)
Winston	272 (-6.5%)	320 (-0.6%)	330 (+12.4%)	921 (+1.7%)
Camel	95 (-4.7%)	107 (+1.5%)	113 (+5.3%)	316 (+0.8%)
Mild Seven	44 (-9.3%)	49 (+6.4%)	50 (+16.8%)	142 (+4.1%)
B&H	25 (-6.3%)	27 (-0.1%)	27 (-6.2%)	79 (-4.2%)
Silk Cut	11 (-6.8%)	11 (-6.8%)	11 (-11.6%)	33 (-8.5%)
LD	74 (+9.2%)	93 (-1.4%)	101 (+10.8%)	268 (+5.8%)
Sobranie	3 (+16.2%)	2 (-44.0%)	4 (-13.5%)	9 (-16.1%)
Glamour	22 (-4.8%)	27 (-14.1%)	32 (+6.3%)	81 (-4.3%)

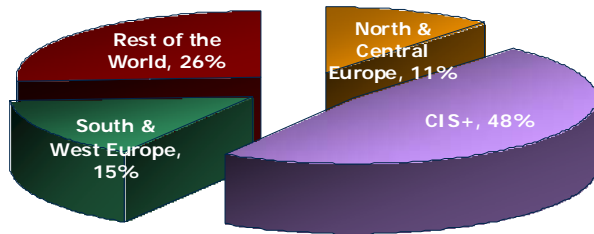
<速報値 7-9月>



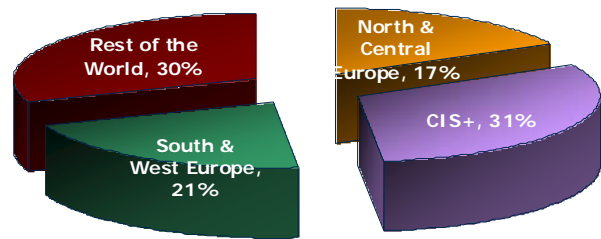
<Back up data No.2> 海外たばこ事業 リージョン別構成比

<速報値 1-9月>

総販売数量¹⁾



調整後税抜売上高²⁾



注:今回から算定方法を修正しております。

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

【参考資料】

2011年3月期 第2四半期実績 および 2011年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

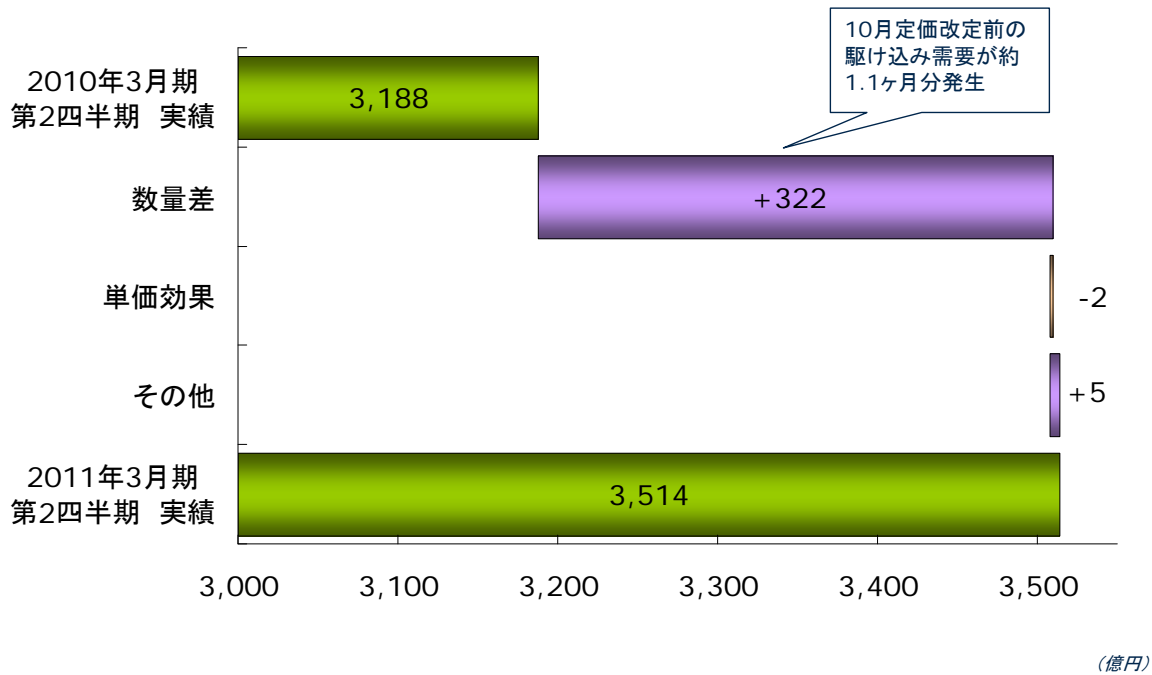
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2011年3月期 第2四半期実績

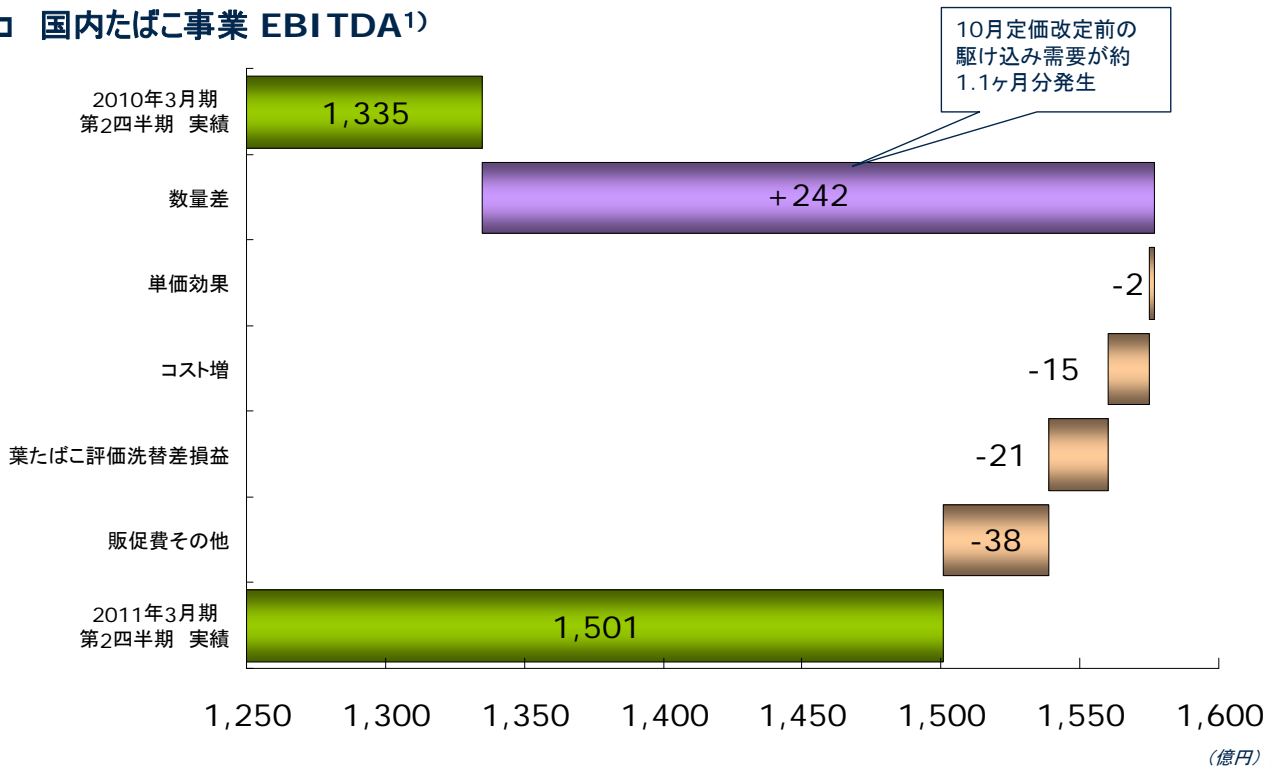
国内たばこ事業 調整後税抜売上高¹⁾



1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

2011年3月期 第2四半期実績

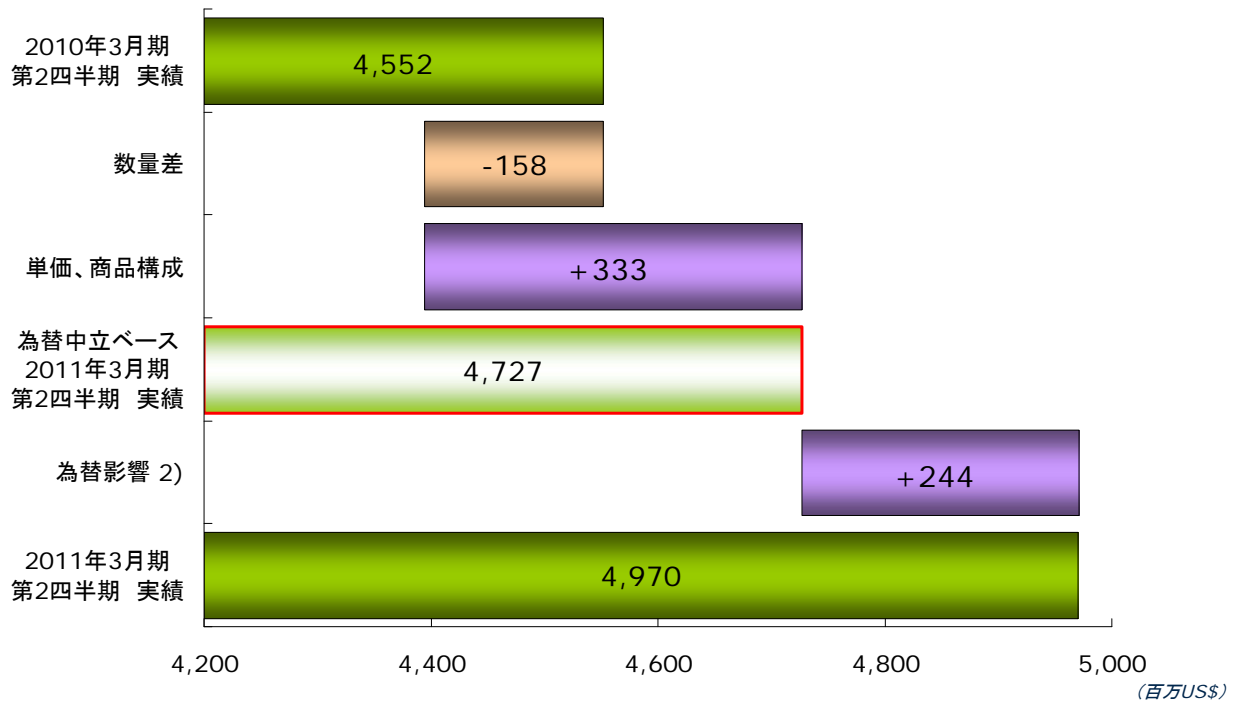
国内たばこ事業 EBITDA¹⁾



1) JTIからのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

2011年3月期 第2四半期実績

□ 海外たばこ事業 調整後税抜売上高¹⁾

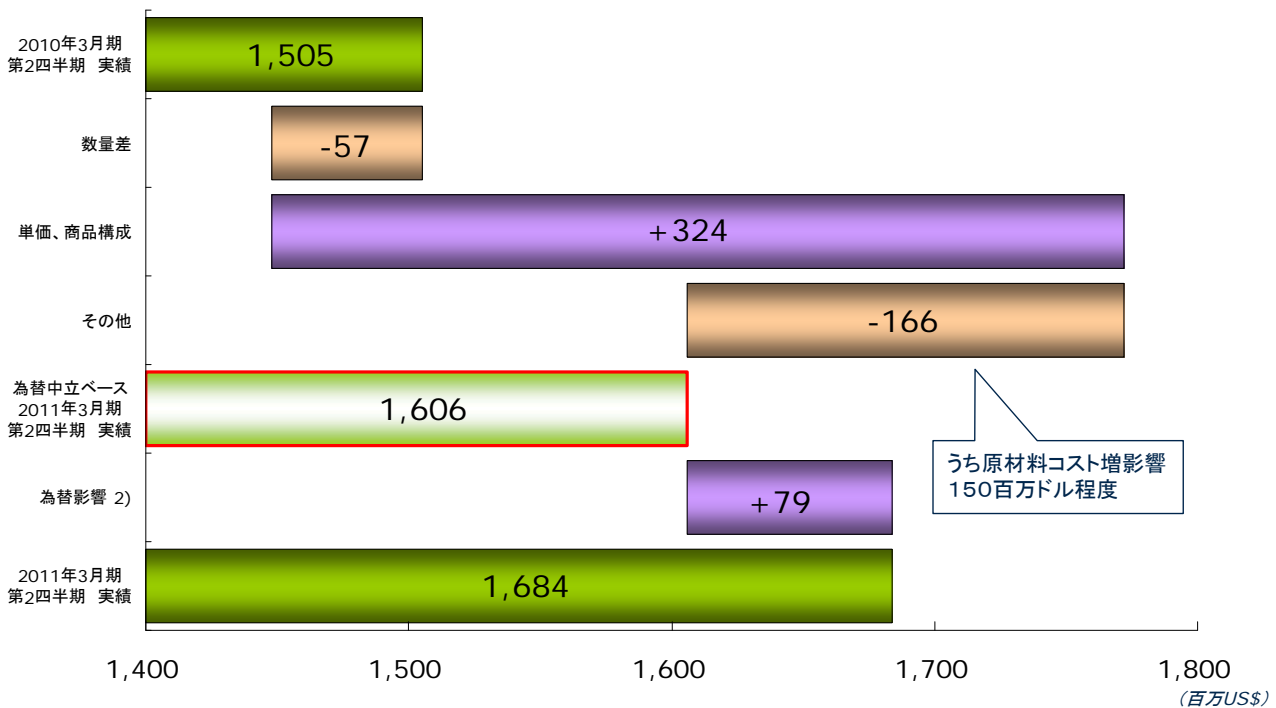


1) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響



2011年3月期 第2四半期実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA¹⁾

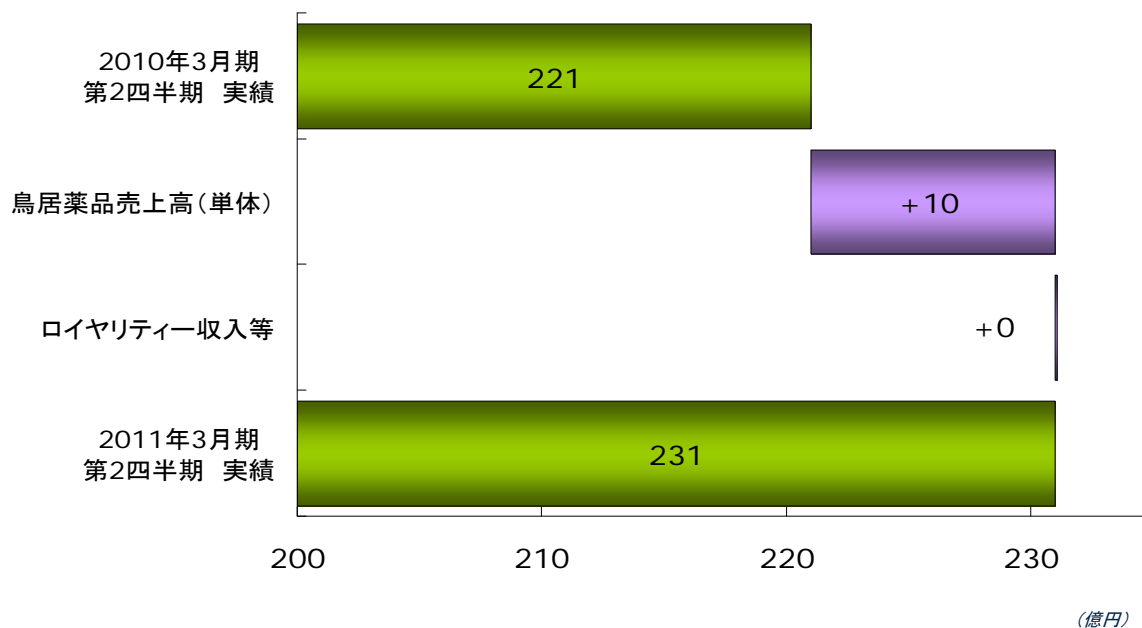


1) JTへのロイヤリティー支払前ドルベース
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響



2011年3月期 第2四半期実績

□ 医薬事業 売上高

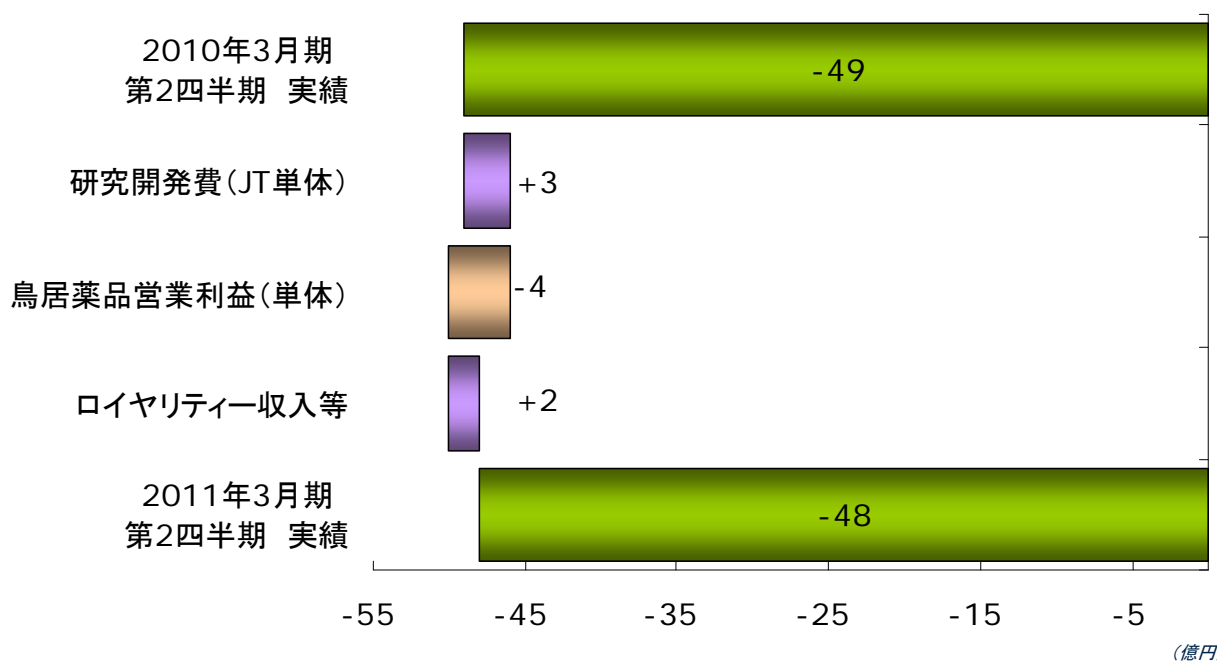


7



2011年3月期 第2四半期実績

□ 医薬事業 EBITDA

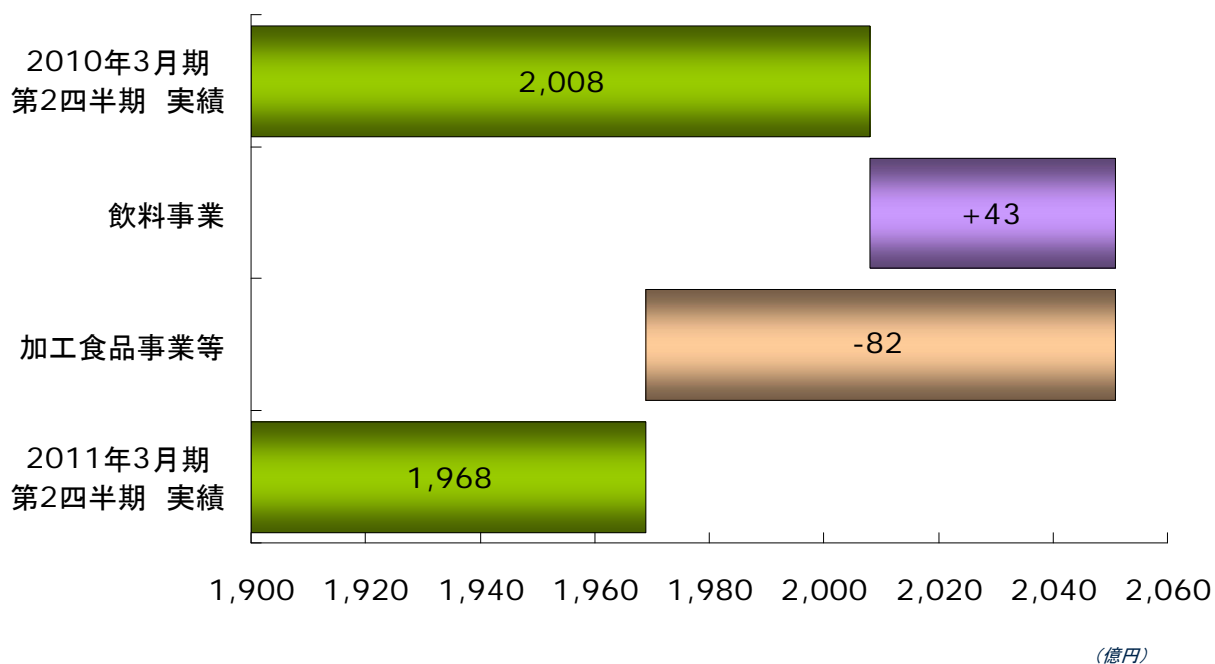


8



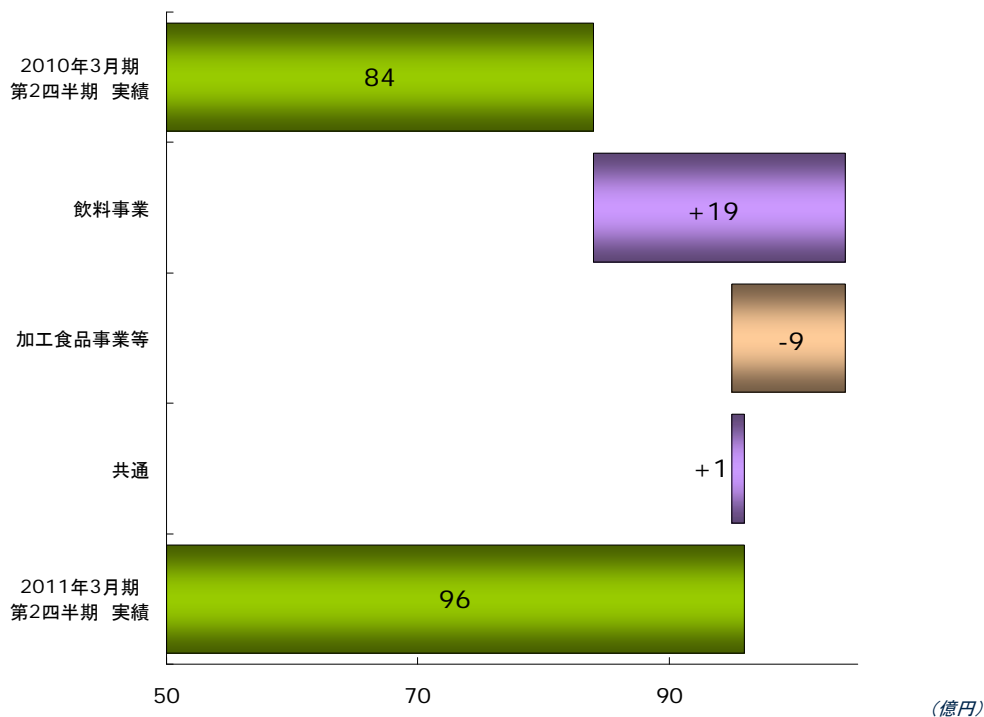
2011年3月期 第2四半期実績

□ 食品事業 売上高



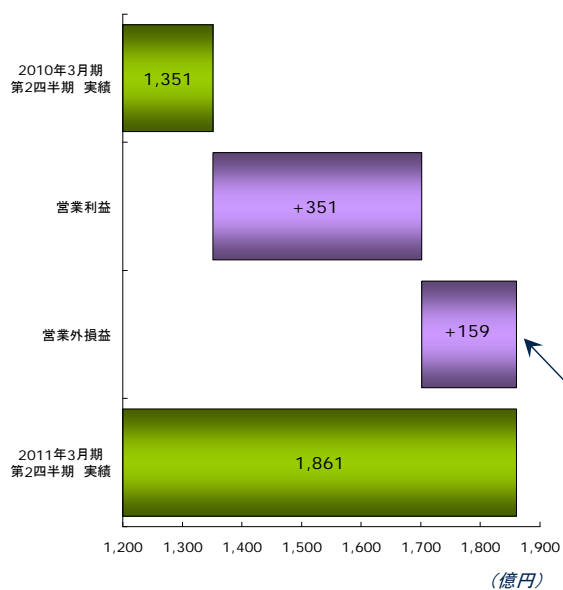
2011年3月期 第2四半期実績

□ 食品事業 EBITDA



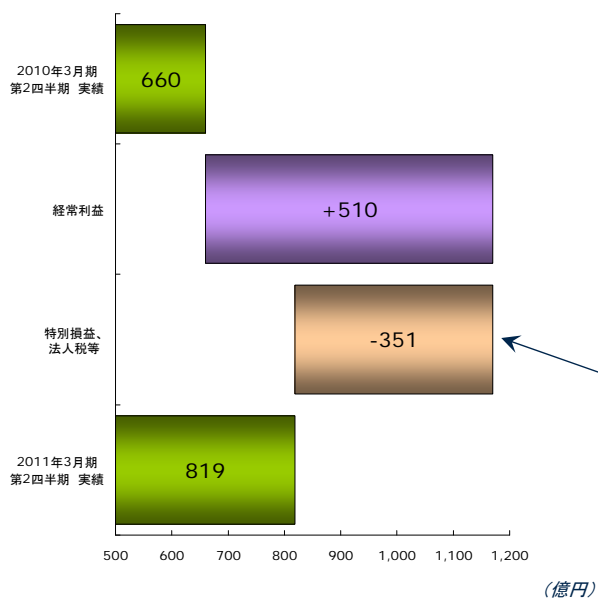
2011年3月期 第2四半期実績

□ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 120億円
支払利息の減: 60億円
悪化要因: 受取利息・配当金の減: 22億円 等

□ 当期純利益

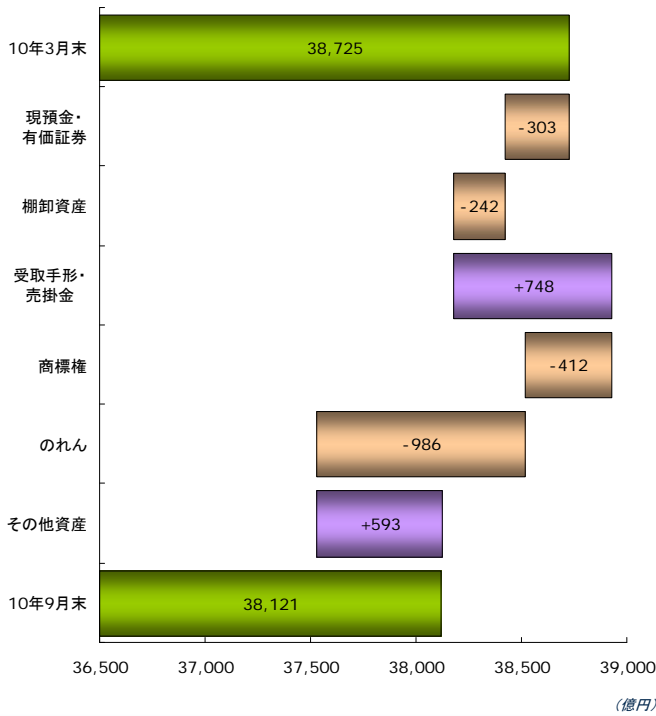


悪化要因: カナダにおける行政法規違反過料: 133億円
固定資産売却益の減: 98億円
法人税等: 72億円 等

(このスライドは空白です)

2011年3月期第2四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2010年3月末・2010年9月末比較



□ 流動資産: +1,160億円

【現預金・有価証券減少】△303億円

- ・ カナダ過料支払
- ・ 有利子負債の返済

【棚卸資産減少】△242億円

- ・ 国内たばこ事業での半製品の減少

【受取手形・売掛金増加】+748億円

- ・ 国内たばこ事業での売上高増
- ・ 海外たばこ事業での売上高増

【その他流動資産増加】+957億円

- ・ 現先取引による増

□ 固定資産△1,764億円

【商標権の減少】△412億円

- ・ 海外たばこ事業での現地通貨安、円高および償却

【のれんの減少】△986億円

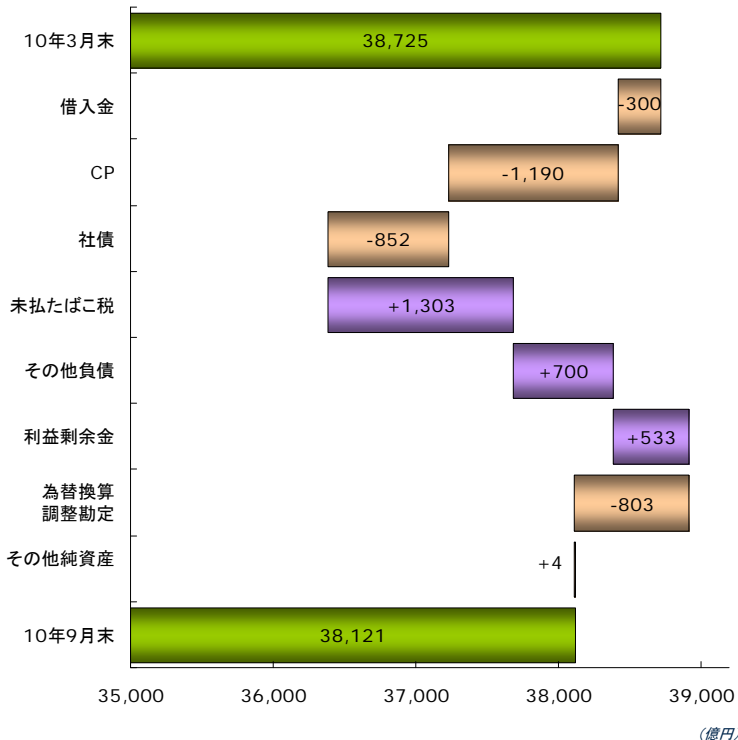
- ・ 海外たばこ事業でののれんの償却、円高

【有形固定資産の減少】△192億円

- ・ 償却
- ・ 海外たばこ事業における円高

2011年3月期第2四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2010年3月末・2010年9月末比較



□ 負債合計: △338億円

【借入金減少】△300億円

【CP減少】△1,190億円

【社債減少】△852億円

【未払たばこ税増】+1,303億円

- ・ 国内たばこ事業における10月定価改定前の駆け込み需要影響

□ 純資産合計: △266億円

【利益剰余金の増加】+533億円

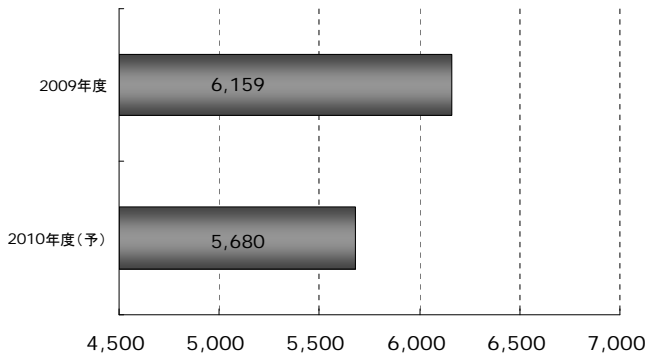
【為替換算調整勘定】△803億円

- ・ 期末の円ドルレートが円高(92.10→88.48)

2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 調整後税売上高¹⁾/EBITDA²⁾

● 調整後税売上高¹⁾

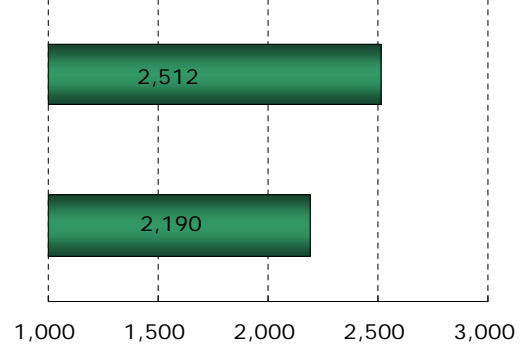


(億円)

【主な減少要因】

- JT販売数量の減:
1,518億本→1,255億本(△263億本)

● EBITDA²⁾



(億円)

【主な減少要因】

- JT販売数量の減(△263億本): 約800億円
- 葉たばこ評価差損益戻入終了: 41億円
- コスト増、販促・その他: 約70億円

【主な増加要因】

- 単価効果: 約590億円

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

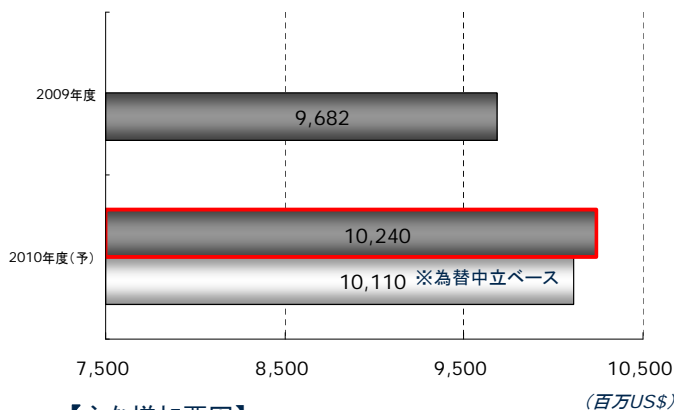
2) JTIからのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後



2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 調整後税売上高¹⁾ (\$ベース)/EBITDA²⁾ (\$ベース)

● 調整後税売上高¹⁾



(百万US\$)

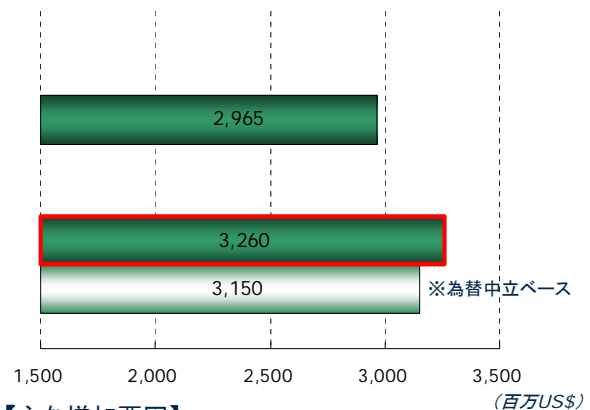
【主な増加要因】

- 主要市場での価格効果が成長を牽引

(参考)

海外たばこ事業調整後税売上高¹⁾9,067億円→8,910億円
(157億円減)
連結円ドルレート 93.65円 → 87.00円 (6.65円高)

● EBITDA²⁾



(百万US\$)

【主な増加要因】

- 主要市場での価格効果が成長を牽引

(参考)

海外たばこ事業EBITDA²⁾2,776億円 → 2,840億円 (63億円増)
連結円ドルレート93.65円 → 87.00円 (6.65円高)

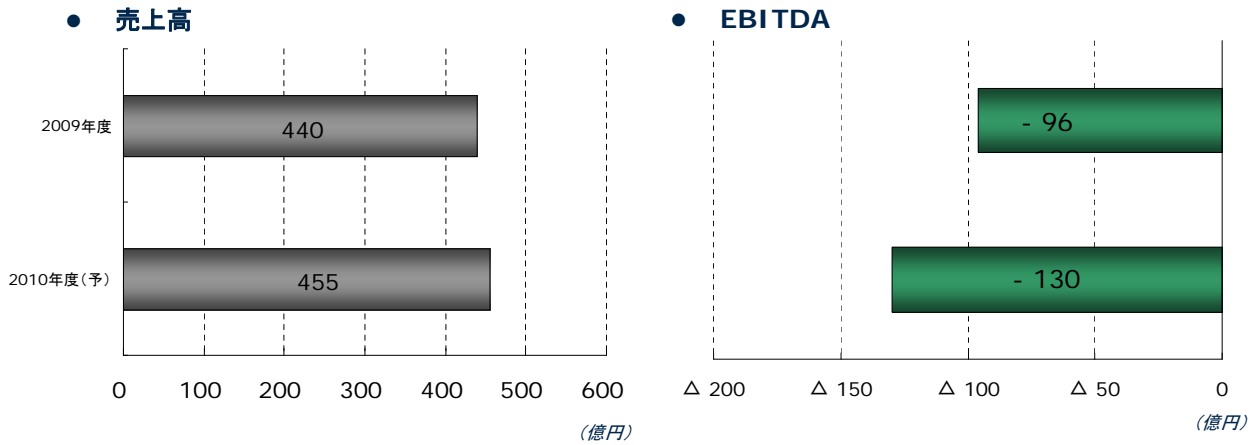
1) 物流事業、PB、製造受託、その他を控除

2) JTIへのロイヤリティ支払前



2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 医薬事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の売上高: 424億円→445億円(+20億円)

【主な減少要因】

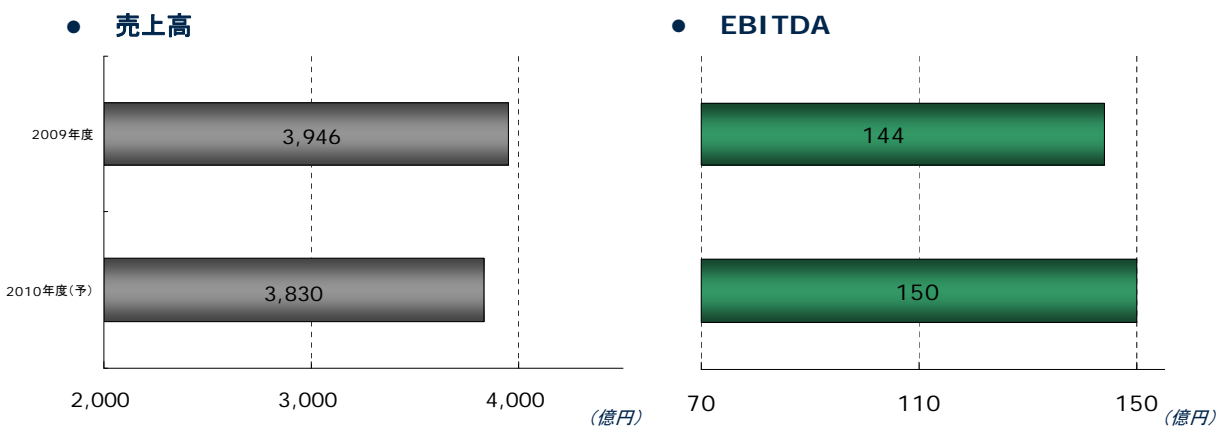
- ロイヤリティー・一時金収入の減少

【主な減少要因】

- 鳥居薬品の営業利益: 61億円→45億円(△16億円)
- 開発の進展に伴い鳥居薬品を含めた研究開発費増
- ロイヤリティー・一時金収入等の減少

2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 食品事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 注力事業分野の成長

【主な減少要因】

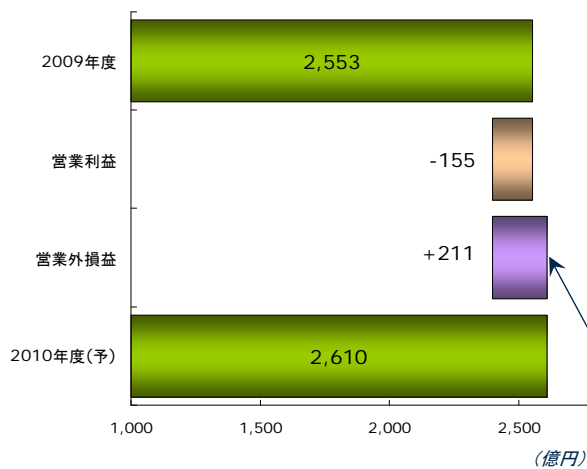
- テーブルマークグループにおける事業の選択と集中

【主な増加要因】

- 10周年を迎える基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
- ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中およびコスト削減

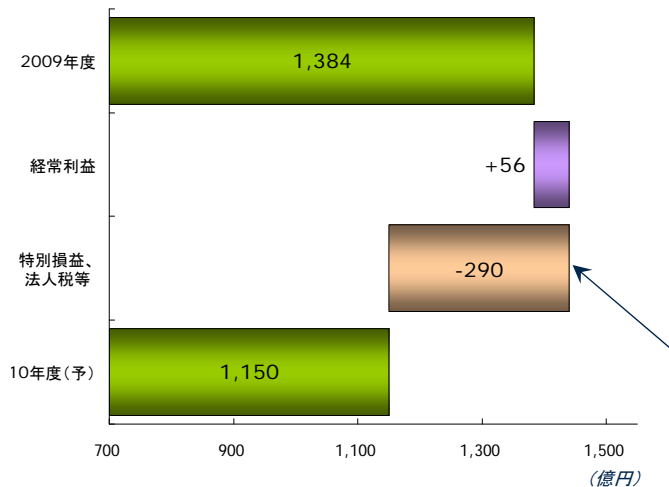
2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善 等

□ 当期純利益



改善要因: 事業構造強化費用の減
減損損失の減少

悪化要因: 前年の英国競争法制裁金関連負債取崩益計上: 167億円
カナダ政府との和解費用支払: 約130億円
固定資産売却益の減 等

(このスライドは空白です)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	09年9月期	10年9月期	増減
税込売上高	30,542	32,987	2,444
調整後税抜売上高 ^(注)	9,867	10,352	485
EBITDA	2,793	3,064	270
営業利益	1,637	1,988	351
経常利益	1,351	1,861	510
四半期純利益	660	819	158

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等および海外たばこ事業における物流事業、業たばこ販売、製造委託等を控除

(参考: のれんの償却影響を除く(主要利益))

(単位:億円)

営業利益	2,133	2,460	327
経常利益	1,847	2,333	486
四半期純利益	1,156	1,291	134

2.売上高の内訳

(単位:億円)

	09年9月期	10年9月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	30,542	32,987	2,444
国内たばこ事業	15,757	17,329	1,572
海外たばこ事業 ^(注1)	12,457	13,360	903
調整後全社税抜売上高 ^(注1/注2/注3)	9,867	10,352	485
国内たばこ事業 ^(注2)	3,188	3,514	326
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	4,350	4,540	190
医薬事業	221	231	10
食品事業	2,008	1,968	△ 39
飲料事業	964	1,007	43
加工食品事業等	1,043	960	△ 82
その他の売上高	98	97	0

(注1): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、業たばこ販売、製造委託等を控除した実績

(参考)

(単位:百万ドル)

	09年6月期	10年6月期	増減
海外たばこ事業			
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	4,552	4,970	419

3.業たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	09年9月期	10年9月期	増減
業たばこ評価洗替差損益	△ 20	-	20

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	09年9月期	10年9月期	増減
販売費及び一般管理費	3,962	3,927	△ 35
人件費 ^(注)	1,084	1,094	9
広告宣伝費	88	93	5
販売促進費	665	672	7
研究開発費	245	245	0
減価償却費	376	313	△ 63
その他	1,501	1,507	5

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	09年9月期 (旧会計基準)	09年9月期 (新会計基準)	10年9月期 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
全社EBITDA	2,793	2,793	3,064	270
営業利益	1,637	1,637	1,988	351
減価償却費 ^(注2)	1,155	1,155	1,075	△ 80
国内たばこ事業EBITDA	1,388	1,335	1,501	165
営業利益	1,108	1,064	1,277	213
減価償却費 ^(注2)	280	271	223	△ 47
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	1,302	1,438	1,538	99
営業利益	598	735	860	125
減価償却費 ^(注2)	703	703	677	△ 26
医薬事業EBITDA	△ 49	△ 49	△ 48	1
営業利益	△ 68	△ 68	△ 67	0
減価償却費 ^(注2)	18	18	19	0
食品事業EBITDA	84	84	96	12
営業利益	△ 56	△ 56	△ 33	23
減価償却費 ^(注2)	140	140	129	△ 10
その他/全社・消去EBITDA	66	△ 16	△ 24	△ 8
営業利益	55	△ 37	△ 48	△ 10
減価償却費 ^(注2)	11	21	23	2

(参考)

(単位:百万ドル)

	09年6月期	10年6月期	増減
海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	1,505	1,684	179

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

6.主要投資案件の諸償却費

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	09年6月期	10年6月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	452	458	20年

(注): 旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

のれん償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

(単位:億円)

食品事業	09年9月期	10年9月期	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	55	45	5年

(注): 2009年9月期の実績: テーブルマーク子会社ののれん一括償却を含む

のれん償却終了は、'12年12月

商標権償却費

(単位:億円)

国内たばこ事業	09年9月期	10年9月期	償却年数
旧RJRI関連	28	-	10年

(注): 商標権償却終了は、'09年4月

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	09年6月期	10年6月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	116	121	主に20年

(注): 商標権償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

7.資本的支出

(単位:億円)

	09年9月期 (旧会計基準)	09年9月期 (新会計基準)	10年9月期 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
資本的支出	554	554	657	102
国内たばこ事業	195	173	197	23
海外たばこ事業 ^(注)	238	238	287	48
医薬事業	13	11	15	4
食品事業	103	103	143	40
その他/全社・消去	2	27	12	△ 15

(注): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

8.手元流動性^(注)

(単位:億円)

	10年3月末	10年9月末	増減
手元流動性	1,673	2,290	616

(注): 手元流動性=現金+有価証券+預金

9.有利子負債^(注)

(単位:億円)

	10年3月末	10年9月末	増減
有利子負債	8,743	6,398	△ 2,344

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	09年9月期	10年9月期	増減
JT販売数量 ^(注)	786	865	79
国内総需要	1,210	1,334	124
JT販売数量シェア	65.0%	64.9%	△ 0.1%pt
JT千本当税抜売上高	12,691	12,686	△ 5
JT千本当税抜売上高	4,055	4,053	△ 2

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2009年9月期18億本、2010年9月期19億本。

【海外たばこ事業】	09年6月期	10年6月期	増減
販売数量 ^(注)	2,161	2,047	△ 113
GFB販売数量	1,213	1,183	△ 30
円/USドルレート	95.59	91.36	4.6%円高
RUB/USドルレート	33.17	30.05	10.4%RUB高
GBP/USドルレート	0.68	0.64	6.0%GBP高
EUR/USドルレート	0.76	0.73	3.9%EUR高

(注): Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	09年9月期	10年9月期	増減
研究開発費(単体)	111	108	△ 3

【食品事業-飲料事業】	10年3月末	10年9月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	257,000	265,000	8,000
うちマーキング機	33,000	33,000	0
うちコンビ機	82,000	86,000	4,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いつながり、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2011年3月期 第2四半期 決算データ集(2)

1.2011年3月期連結業績予想(当初見込比較) (単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
税込売上高	59,800	59,100	△ 700
EBITDA	5,130	4,950	△ 180
営業利益	2,950	2,810	△ 140
経常利益	2,760	2,610	△ 150
当期純利益	1,330	1,150	△ 180
ROE(株主資本利益率)	8.0%	6.9%	△ 1.1%pt
フリーキャッシュフロー	1,350	1,250	△ 100

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,260	2,050	△ 210
EPS(円)	23,590.59	21,408.96	△ 2,181.63
1株当たり配当金(円)	5,600	5,600	-
配当性向	23.7%	26.2%	2.4%pt

事業セグメント別業績予想(注4) (単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
税込売上高(注1)	59,800	59,100	△ 700
国内たばこ事業	28,320	28,480	160
海外たばこ事業	26,990	26,140	△ 850
調整後税抜売上高(注1)(注2)(注3)	19,730	19,050	△ 680
国内たばこ事業(注2)	5,760	5,680	△ 80
海外たばこ事業(注1)(注3)	9,440	8,910	△ 530
医薬事業	445	455	10
食品事業	3,900	3,830	△ 70
その他/売上高	185	185	0
EBITDA(注1)(注5)	5,130	4,950	△ 180
国内たばこ事業	2,190	2,190	0
海外たばこ事業(注1)	3,000	2,840	△ 160
医薬事業	△ 145	△ 130	15
食品事業	185	150	△ 35
その他/全社・消去	△ 100	△ 90	10
営業利益(注1)	2,950	2,810	△ 140
国内たばこ事業	1,720	1,720	0
海外たばこ事業(注1)	1,660	1,530	△ 130
医薬事業	△ 185	△ 170	15
食品事業	△ 90	△ 125	△ 35
その他/全社・消去	△ 155	△ 140	15
減価償却費(注1)(注6)	2,180	2,140	△ 40
国内たばこ事業	470	470	0
海外たばこ事業(注1)	1,340	1,310	△ 30
医薬事業	40	40	0
食品事業	275	275	0
その他/全社・消去	55	50	△ 5

(単位:億円)

資本的支出(注1)	1,720	1,650	△ 70
国内たばこ事業	620	645	25
海外たばこ事業(注1)	680	630	△ 50
医薬事業	25	30	5
食品事業	350	310	△ 40
その他/全社・消去	45	45	0

(参考) (単位:百万ドル)

	当初見込	今回見込	増減
海外たばこ事業	10,480	10,240	△ 240
調整後税抜売上高(注1)(注3)			
海外たばこ事業EBITDA(注1)	3,330	3,260	△ 70
(ロイヤリティ支払前)			

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

(注4):セグメント情報等の開示に関する会計基準の変更にとりま、事業セグメント別指標の定義を変更。

国内たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティー受取前、

海外たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティー支払前の利益を表示。

また共通経費(減価償却費を含む)・資本的支出の各事業部門への配賦方法を変更。

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業 (単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
販売数量	1,275	1,255	△ 20

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	当初見込	今回見込	増減
総販売数量※	4,330	4,285	△ 45
GFB販売数量	2,500	2,500	0
円/USドルレート	90.00	87.00	3.4%高
RUB/USドルレート	29.50	30.10	2.0%安
GBP/USドルレート	0.65	0.64	1.6%高
EUR/USドルレート	0.68	0.75	9.3%安

億本
億本
円
RUB
GBP
EUR

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	当初見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	915	915	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	当初見込	今回見込	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	91	91	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期はテーブルマーク(旧加ト吉)子会社の一括償却を含む

主要投資案件の商標権償却費

国内たばこ事業 (単位:億円)

	当初見込	今回見込	償却年数
旧RJRI関連	-	-	10年

(注):'09年4月に償却終了

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	当初見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	240	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2011年3月期 第2四半期 決算データ集(3)

2.2011年3月期連結業績予想(前期実績比較) (単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	61,346	59,100	△ 2,246
EBITDA	5,267	4,950	△ 317
営業利益	2,965	2,810	△ 155
経常利益	2,553	2,610	56
当期純利益	1,384	1,150	△ 234
ROE(株主資本利益率)	8.6%	6.9%	△ 1.7%pt
フリーキャッシュフロー	2,507	1,250	△ 1,257

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,358	2,050	△ 308
EPS(円)	24,621.42	21,408.96	△ 3,212.46
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	△ 200
配当性向	23.6%	26.2%	2.6%pt

事業セグメント別業績予想(注4) (単位:億円)

	前期実績 (旧会計基準)	前期実績 (新会計基準)	今回見込 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
税込売上高(注1)	61,346	61,346	59,100	△ 2,246
国内たばこ事業	30,428	30,428	28,480	△ 1,948
海外たばこ事業	26,336	26,336	26,140	△ 196
調整後税抜売上高(注1)(注2)(注3)	19,809	19,809	19,050	△ 759
国内たばこ事業(注2)	6,159	6,159	5,680	△ 479
海外たばこ事業(注1)(注3)	9,067	9,067	8,910	△ 157
医薬事業	440	440	455	13
食品事業	3,946	3,946	3,830	△ 116
その他/売上高	195	195	185	△ 10
EBITDA(注1)(注5)	5,267	5,267	4,950	△ 317
国内たばこ事業	2,576	2,512	2,190	△ 322
海外たばこ事業(注1)	2,498	2,776	2,840	63
医薬事業	△ 96	△ 96	△ 130	△ 32
食品事業	144	144	150	5
その他/全社・消去	143	△ 70	△ 90	△ 19
営業利益(注1)	2,965	2,965	2,810	△ 155
国内たばこ事業	2,033	1,987	1,720	△ 267
海外たばこ事業(注1)	1,091	1,369	1,530	160
医薬事業	△ 135	△ 135	△ 170	△ 34
食品事業	△ 136	△ 136	△ 125	11
その他/全社・消去	113	△ 118	△ 140	△ 21
減価償却費(注1)(注6)	2,301	2,301	2,140	△ 161
国内たばこ事業	543	525	470	△ 55
海外たばこ事業(注1)	1,407	1,407	1,310	△ 97
医薬事業	39	39	40	0
食品事業	281	281	275	△ 6
その他/全社・消去	30	48	50	1

(単位:億円)

資本的支出(注1)	1,371	1,371	1,650	278
国内たばこ事業	458	426	645	218
海外たばこ事業(注1)	645	645	630	△ 15
医薬事業	29	26	30	3
食品事業	234	234	310	75
その他/全社・消去	3	38	45	6

(参考) (単位:百万ドル)

	前期実績	今回見込	増減
海外たばこ事業	9,682	10,240	558
調整後税抜売上高(注1)(注3)			
海外たばこ事業EBITDA(注1) (ロイヤリティ支払前)	2,965	3,260	295

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

(注4):セグメント情報等の開示に関する会計基準の変更にもない、事業セグメント別指標の定義を変更。

国内たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティ受取前、

海外たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティ支払前の利益を表示。

また共通経費(減価償却費を含む)・資本的支出の各事業部門への配賦方法を変更。

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業 (単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,518	1,255	△ 263

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	前期実績	今回見込	増減
総販売数量※	4,349	4,285	△ 64
GFB販売数量	2,434	2,500	66
円/USドルレート	93.65	87.00	7.6%高
RUB/USドルレート	31.77	30.10	5.6%高
GBP/USドルレート	0.65	0.64	1.0%高
EUR/USドルレート	0.73	0.75	3.3%安

日本
円
RUB
GBP
EUR

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前期実績	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	904	915	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	前期実績	今回見込	償却年数
テールマーク(旧加吉)関連	104	91	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期はテールマーク(旧加吉)子会社の一括償却を含む

主要投資案件の商標権償却費

国内たばこ事業 (単位:億円)

	前期実績	今回見込	償却年数
旧RJRI関連	29	-	10年

(注):'09年4月に償却終了

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前期実績	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	242	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506			

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531			

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689	12,691	12,696	12,692
2010年度	12,686	12,686			

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052			

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1			

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2			

②1mg市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7			

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1			

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0			

②メンソール市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3			

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1			

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7			

②320円以上市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4			

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5			

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47			

* ビアニッソモ及びプレミアは2006年3月、ベヴェル・フレアは2006年12月、キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2010年10月28日現在)

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白：善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP (ミクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白：善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感知受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase2	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1 (パノロイド受容体1) 阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出 (鳥居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	海外：Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	
JTT-851 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GPR40 (G蛋白質共役型受容体) 作動薬	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	

*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回 (2010年7月29日) 公表時からの変更点：JTT-851の国内臨床入り
JTT-654の開発中止

【付記事項】

米国メディムン社 (現アストラゼネカ社子会社) は、2006年12月28日に当社が同社へ日本を除く全世界での開発・商業化権を導出した抗ICOS抗体が、臨床入り (Phase1) したことを2010年7月に公表